

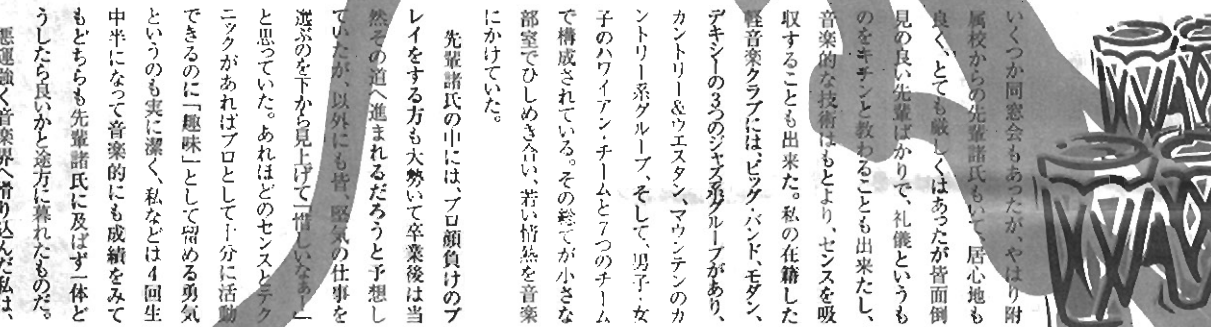
と思う。  
とはいえ人知れずちゃんと練習して  
いた仲間たちは見事にプロとなり、ち  
ゃんとしたリーマンになって夜になると  
楽器を手にライブをこなすナイイトン  
プ  
レイヤーになった。ちゃんと練習しな  
か  
ったボクはジキズ誌の編集を成果とす  
ることになった。

でも、あの時代、あの教室のあの空  
気がボクがファンキーそのものだった  
とボクは皮膚感覚で実感したので、と  
今でも自負している。

私、明治大学法学部法律学科を  
卒業したことになるので「法学上二  
なのだぞうだが実際には軽音楽部の  
部屋と練習場として割り当てられた  
91番教室と今は無き記念館講堂へ通  
ついでたようなもので、大きな活で法  
学部卒業」と云ったものではない。

それでも出欠をとられるので大概  
の授業には出ていたがクラブ活動でも  
レギュラーに早々と納まったものだ  
から、日々これケイコケイコという、体  
何しに大笑、通だのか、いや、しかし、  
このクラブ活動というものが大学生生活  
をいかに有意義に過ごせたか今思っ  
と感慨深い。

あの頃は、文科系のクラブ活動も盛  
んで、私のように音楽の好きだった者は、  
中・高大学の諸先輩の厳しい御指  
導のお蔭で読譜、採譜、作曲というも  
のを可能にしていたので、現在の仕事  
を継続していただける訳で、他に何の能  
力もないので、あの青春時代、学業をち  
ちのけで打ち込んでいたエネルギーは  
無駄ではなかったと思う。ただ、4年  
間いや正確には債券各論を取れずに  
いたので5年間、法律の専門課目をあ  
れ程教えて頂いたにも係らず何ひとつ  
身につけていないことについては、何ん  
とも申し分なく、又、情無く思っ  
ている。時折、神田方面に仕事があると  
正門の前を通過するのだが校舎には  
あの頃の面影もなく金ポタンの制服と  
学帽を誇りにしていた私達世代には  
眩しくらいのカジュアルな服装の後  
輩たちの姿を見ると時代の変化を強  
く感じざるを得ないが、それも又、良  
しと心にとめる。音楽界で25年余り  
を過ごし、性根りもなくロックバンドを  
幾つも結成し、現在はRUIコネクショ  
ンというグループを率いて4年目に入  
った。このグループのポリシーは「本筋  
を通して不良で生きたい」だ。



5年かかって卒業した大学。余りの  
成績の悪さに企業への推薦もして頂  
けなかったが、今の仕事、在学中の5  
年間の重みが大きく私の人生の支え  
となつている。不良は不良なりに筋を  
通して生きたいのだ。そして、私が在  
学中に獲得したのは音楽ばかりでは  
ない。嫁まで頂いたのだ。感謝！

この会誌「楽友」は、年に一回発行しています。  
レギュラーページになって「私の時代」「ミニシツク」  
「スポット」「フロムミュージシャン」情報をはじめ、アマチュア・バ  
ンド等の情報、メンバーの求人、楽器やレコード(CD)等の  
交換、売りたい、買いたいし、現在のお仕事等の情報、PRなど、  
お気軽にお送り下さい。

会誌「楽友」への  
寄稿、情報等をお待ちしています！  
(連絡先)  
(株)メディアリング MS事業部 高津敏栄  
〒1107 東京都港区赤坂B1513F  
赤坂山崎ビル2F  
TEL 03-54747418852  
FAX 03-54747418859

### ミニエージツク・スポット

落首 豊(56年卒/〇)  
早いもので大学を卒業して15年になりました。  
この15年間を振り返ると、良くも悪  
くも、どちらかという悪い面を音楽をちやっ  
いたという点に引きずられて生きてきたと  
思っています。  
学生時代は、「ロックは反体制の音楽」とす  
るような、若干左翼がかった音楽雑誌に影響  
されたり、自分自身中途半端にプロになりた  
いという気持ちもあって、ほとんど就職活動  
というのをしないで、安易に職を決めてし  
まいました。今考えると、せうかく明治大学と  
いう素晴らしい大学を出ておいて、それを今  
後の人生に生かす上で出発点が非常にイー  
ジーだったと思えますが、当時はそれがわか  
らなかつたし、自分と自分のつきあっている人  
音の人間がほとんどですが、を見てみると、と  
てもそれは思えなかつたんですね。  
私にとって2つめの職場は武蔵野音楽学院  
といつてジャズとロックのプロミュージシャンを  
目指す人たちの学校で、そこで学校行事とし  
てのコンサート企画や東方の仕事をしてい  
たのですが、ここでもこの学校の生徒達とバ  
ンドをやっていました。生徒達は当然ロック指  
向でしたが、自分は当時プロになるつもりはな  
かつたので、あくまでも正式メンバーが決まら  
なかつたので、手伝いという状態にいました。し  
かしそれは問題がめざましいというが、結局  
自分も会社を辞めてしまふほどのめりこんで  
しまいました。  
このバンドをやっていた時期、特に会社を辞  
めてからアルバイトをしながら活動していた

